

〈目指す学校像〉

そこに美がある

「挨拶・清掃・歌声」を大切に作る学校

- ① 保護者、地域が信頼を寄せ、地域と共に歩む学校
- ② 活力と創意工夫に満ちた、創造あふれる学校
- ③ 毎日に潤いがある、安全で安心な学校

## 『人々が美しく心を寄せ合う中で、 新たな文化が生まれ育つ』

（「令和」の意味：令和元年4月 内閣総理大臣談話より）

8月30日、いよいよ2学期が始まりました。

しかし、昨年の6月同様、学校は分散登校による感染拡大防止を余儀なくされています。特に変異株と呼ばれるデルタ株は、10代の子供達にも感染が広がりつつあるとの報道もあります。その中で、学校が始まることには不安もあるかも知れませんが、生徒一人一人の成長と学びを支えていくために、学校では、最大限の対策を講じてご家庭の理解と協力を得ながら、前に進んでいかなければいけないと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、タイトルにある『人々が美しく心を寄せ合う中で、新たな文化が生まれ育つ』という言葉覚えていませんか。これは令和時代が始まった2年前の4月、当時の内閣総理大臣の談話による「令和」という言葉の意味です。そして、その年の5月1日から令和時代がスタートしました。

しかし、新たな時代が始まったそのとき、1年後にまさか新型コロナウイルスによるこのようなパンデミックが起こったり、世の中の生活様式が変わったりするとは、誰が想像したでしょうか。そして、1年どころか、2年目さらに変異株により感染が拡大するなど、我々の想像を超えた事態となってしまいました。

そこで、この言葉について、もう一度振り返ってみてください。今、コロナ禍で、私たちが何を思い、どう行動してこの難局を乗り越え、新しい世界を作っていかなければならないか、それを考える必要があると思います。災害とさえ言われる中で、いたずらに他者の行動を批判したり、感染そのものを悪と捉えたりするのではなく、自分はどうしたらよいのか、今の私たちに必要な「心」とは何かを考えてください。そして、医療従事者の方々に対する感謝の心を持ち、自らの行動を律する、このことを常に自問自答することが大切です。皆で心を寄せ合い、集団生活の中でお互いに思いやりを持って、感染予防に気をつけながら、日常を取り戻していく、そのためにもこの心が必要と考えます。

2学期の行事も通常どおり実施できるかどうかまだわからない状況ではありますが、一つでも多く、生徒の皆さんの学校生活が充実できるよう進めていく予定です。各学級で、皆で美しく心を寄せ合い、協力してよりよい文化を築いていくことを目標に、2学期も日々を大切にしていきたいと思います。

\*\*\*\*\*

### ★分散登校★分散給食～みんなで協力して私たちの健康と生活を守ろう！

緊急事態宣言発令期間中（9/12までの予定）、分散登校によりクラスの人数を半分に学校生活を行っています。授業は勿論、給食の時間も半数ですが、この期間は2クラス（半数+半数）で片方のクラスの給食を分け合って、1回の配膳で双方の教室を使って喫食することが出来るよう変更しています。したがって後半の生徒も未開封の状態です。密を避けて給食を食べることができます。給食手伝い員さんや生徒の皆さんと先生達、たくさんの人たちの協力で、より良い状態を生み出していきます。感染予防はご家庭のご協力もお願いします。



分散登校で間隔を広くとって感染予防！